

**第 3 問** (選択問題) (配点 20)

中にくじが入っている箱が複数あり、各箱の外見は同じであるが、当たりくじを引く確率は異なっている。くじ引きの結果から、どの箱からくじを引いた可能性が高いかを、条件付き確率を用いて考えよう。

- (1) 当たりくじを引く確率が  $\frac{1}{2}$  である箱 A と、当たりくじを引く確率が  $\frac{1}{3}$  である箱 B の二つの箱の場合を考える。

- (i) 各箱で、くじを 1 本引いてはもとに戻す試行を 3 回繰り返したとき

$$\text{箱 A において、3 回中ちょうど 1 回当たる確率は } \frac{\boxed{\begin{array}{c} \text{ア} \\ \text{イ} \end{array}}}{\boxed{\begin{array}{c} \text{ウ} \\ \text{エ} \end{array}}} \cdots \textcircled{1}$$

$$\text{箱 B において、3 回中ちょうど 1 回当たる確率は } \frac{\boxed{\begin{array}{c} \text{ウ} \\ \text{エ} \end{array}}}{\boxed{\begin{array}{c} \text{ア} \\ \text{イ} \end{array}}} \cdots \textcircled{2}$$

である。

- (ii) まず、A と B のどちらか一方の箱をでたらめに選ぶ。次にその選んだ箱において、くじを 1 本引いてはもとに戻す試行を 3 回繰り返したところ、3 回中ちょうど 1 回当たった。このとき、箱 A が選ばれる事象を A、箱 B が選ばれる事象を B、3 回中ちょうど 1 回当たる事象を W とする

$$P(A \cap W) = \frac{1}{2} \times \frac{\boxed{\begin{array}{c} \text{ア} \\ \text{イ} \end{array}}}{\boxed{\begin{array}{c} \text{ウ} \\ \text{エ} \end{array}}}, \quad P(B \cap W) = \frac{1}{2} \times \frac{\boxed{\begin{array}{c} \text{ウ} \\ \text{エ} \end{array}}}{\boxed{\begin{array}{c} \text{ア} \\ \text{イ} \end{array}}}$$

である。 $P(W) = P(A \cap W) + P(B \cap W)$  であるから、3 回中ちょうど 1

回当たったとき、選んだ箱が A である条件付き確率  $P_W(A)$  は  $\frac{\boxed{\begin{array}{c} \text{オカ} \\ \text{キク} \end{array}}}{\boxed{\begin{array}{c} \text{ケコ} \\ \text{サシ} \end{array}}}$  となる。

また、条件付き確率  $P_W(B)$  は  $\frac{\boxed{\begin{array}{c} \text{ケコ} \\ \text{サシ} \end{array}}}{\boxed{\begin{array}{c} \text{オカ} \\ \text{キク} \end{array}}}$  となる。

(数学 I ・ 数学 A 第 3 問は次ページに続く。)

(2) (1) の  $P_W(A)$  と  $P_W(B)$  について、次の**事実(\*)**が成り立つ。

— 事実(\*) —

$P_W(A)$  と  $P_W(B)$  の [ス] は、①の確率と②の確率の [ス] に等しい。

[ス] の解答群

① 和	② 2乗の和	③ 3乗の和	④ 比	⑤ 積
-----	--------	--------	-----	-----

(3) 花子さんと太郎さんは**事実(\*)**について話している。

花子：事実(\*)はなぜ成り立つかな？

太郎： $P_W(A)$  と  $P_W(B)$  を求めるのに必要な  $P(A \cap W)$  と  $P(B \cap W)$  の

計算で、①, ② の確率に同じ数  $\frac{1}{2}$  をかけているからだよ。

花子：なるほどね。外見が同じ三つの箱の場合は、同じ数  $\frac{1}{3}$  をかけるこ

とになるので、同様のことが成り立ちそうだね。

当たりくじを引く確率が、 $\frac{1}{2}$  である箱 A,  $\frac{1}{3}$  である箱 B,  $\frac{1}{4}$  である箱 C の三つの箱の場合を考える。まず、A, B, C のうちどれか一つの箱をでたらめに選ぶ。次にその選んだ箱において、くじを 1 本引いてはもとに戻す試行を 3 回繰り返したところ、3 回中ちょうど 1 回当たった。このとき、選んだ箱

が A である条件付き確率は  $\frac{\text{セソタ}}{\text{チツテ}}$  となる。

(数学 I ・数学 A 第 3 問は次ページに続く。)

## 数学 I ・ 数学 A

(4)

花子：どうやら箱が三つの場合でも、条件付き確率の ス は各箱で 3

回中ちょうど 1 回当たりくじを引く確率の ス になっているみたいだね。

太郎：そうだね。それを利用すると、条件付き確率の値は計算しなくても、その大きさを比較することができるね。

当たりくじを引く確率が、 $\frac{1}{2}$  である箱 A,  $\frac{1}{3}$  である箱 B,  $\frac{1}{4}$  である箱 C,  $\frac{1}{5}$  である箱 D の四つの箱の場合を考える。まず、A, B, C, D のうちどれか一つの箱をでたらめに選ぶ。次にその選んだ箱において、くじを 1 本引いてはもとに戻す試行を 3 回繰り返したところ、3 回中ちょうど 1 回当たった。このとき、条件付き確率を用いて、どの箱からくじを引いた可能性が高いかを考える。可能性が高い方から順に並べると ト となる。

ト の解答群

① A, B, C, D      ② A, C, B, D

③ A, C, D, B      ④ A, D, B, C

⑤ B, A, C, D      ⑥ B, A, D, C

⑦ B, C, A, D

⑧ B, C, D, A